

2021年4月25日(日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうきょうかい}久宝教会

第64巻第4号(通算3232号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

^{かみさま}神様が創られたすべての^{いのち}命を
^{たいせつ}大切に^{きょうかい}する教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

私は知っている。／私を^{あがな}贖う方は生きておられ／後の日に^{ちり}塵の上に立たれる。(ヨブ記 19:25)

復活節 第4主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

前奏 黙祷

招きの詞 イザヤ書

52章 13-15節

賛美歌 21-197番「ああ主のひとみ」(©教団出版局)

聖書 ヨハネの手紙I 3章 16-24節

お祈り

賛美歌 21-194番「神さまはそのひとり子を」(©JASRAC)

メッセージ「愛・死・会い、愛を知る」岡嶋千宙 伝道師 (向島伝道所)

賛美歌 21-419番「さあ、共に生きよう」(©JASRAC)

主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讃美歌改訂委員会)

献げ物 (*)

誕生者祝福式 (**)

派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

祝福 岡嶋千宙 伝道師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)

報告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

** みんなで4月生まれの方をお祝いいたします。ご遠慮なさらず、どなたでもお申し出ください。

招きの詞 ^{まね} ^{ことば} イザヤ書 52章 13-15節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

13 見よ、わが僕 ^{しもべ} は栄える。

彼は高められ、上げられ、はるかに高くなる。

14 多くの人 ^{そこ} が 彼の ことで驚いたように

その姿 ^{すがた} は損なわれ、人のようではなく

姿 ^{すがた} 形 ^{かたち} は人の子らとは違っていた。

15 そうして、彼は多くの国民を驚かせる。

王たちは彼について口を閉ざす。

彼らは、自分たちに告げられていなかったことを見

聞いていなかったことを悟るからだ。

(脚注 a: 「彼の」はシリア語・アラム語写本による。

へブライ語写本では「あなたの」)

聖書 ヨハネの手紙 I 3章 16-24節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

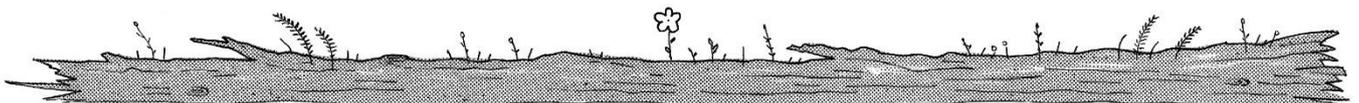
^{みこ} 16 御子は私たちのために命を捨ててくださいました。それによって、私たちは愛を知りました。だから、私たちもきょうだいのために命を捨てるべきです。

^{あわ} 17 世の富を持ちながら、きょうだい ^{あわ} が貧しく困っているのを見て憐れみの心を閉ざす者があれば、どうして神の愛がその人の内にとどまるでしょう。 ^こ 18 子たちよ、言葉や口先だけではなく、行いと真実をもって愛そうではありませんか。

^こ 19 これによって、私たちは真理から出た者であることを知り、神の前に心を安らかにされるのです。 ^こ 20 たとえ心に責められることがあろうとも、神は、私たちの心よりも大きく、すべてをご存じだからです。 ^こ 21 愛する人たち、心に責められることがなければ、私たちは ^こ 神の前 で確信を持つことができます。

^こ 22 願うものは何でも、神からいただくことができます。私たちが神の戒めを守り、御心 ^{みこころ} に ^{かな} 適うことを行っているからです。 ^こ 23 神の御子イエス・キリストの名を信じ、この方が私たちに命じられたように、互いに愛し合うこと、これが神の戒め ^{いまし} です。 ^こ 24 神の戒め ^{いまし} を守る人は、神の内にとどまり、神もその人の内にとどまってくださいます。神が私たちの内にとどまってくださいますことは、神が私たちに与えてくださった ^{れい} 霊によって分かります。

(脚注 b: 別訳「神に対して」)



メッセージ「絶望の中に命の神はよみがえる」より

聖書：列王記 上 17章 8-24節

今回のお話は預言者エリヤの物語でした。旱魃（かんばつ）を逃れサレプタに行ったエリヤは、そこで一人のやもめと出会います。貧しいやもめには彼を養うだけの食糧はありませんでしたが、彼に言われた通りに与えると、預言通り小麦粉と油は尽きませんでした。絶望し「もうこれだけしかありません。あとは死ぬばかりです」と言っていた彼女でしたが、その状況下でも彼を養うことで、かえって自分たちも養われました。他人に与えることで、自分が与えた以上に与えられるというのは、日本にある「情けは他人のためならず」ということわざにも通じているかもしれません。後半は、病気になった女主人の息子をエリヤが生き返らせたお話です。この二つが同じ家での出来事として考えるならば、彼女は「食物が尽きることはなかった」段階で、エリヤが神様から遣わされた預言者であり、自分たちは命の神によって生かされていると気付くことが出来たはずでした。にもかかわらず、彼女は日々与えられている恵みには気付かず、子どもが亡くなると預言者を責め立て、子どもを生き返らせてもらって初めて「たった今、あなたが神の人であることが分かりました」と言って憚（はばか）りません。このような女性の態度は、今を生きている私たちの中にもあるのではないのでしょうか。しかし、この女性は、子どもの生き返りと共に、神様と共に歩む「新しい命」「新しい生き方」を生きようになりました。「復活のイエス様」に出会った弟子たちが、それまでの古い生き方から、新しい生き方へと歩み出したように、この女性も、そして私たちもまた新しい生き方、新しい命へと招かれているのだと思います。

今、日本ではこれまでにない程に新型コロナウイルスの感染が拡大しています。大阪では重症者を受け入れている病院がパンクして、医療崩壊が起こっています。今一度、一人一人が「命を守る」ということについて、考え直す時が来ているように思われています。そのようなさくさくの中で、東京五輪のことも、福島第一原発の汚染水海洋放出のことも、様々なことが「命を守る」とは反対方向へと、なし崩し的に進んでいます。このような中、私たちに出来ることは何か、もう諦めるしかないのか。様々なことが頭の中を駆け巡ります。けれども死を越えられる命の神、復活のイエス・キリストは、そんな絶望の中によみがえられました。命の神は絶望の中にこそ現れます。食べ物が底をついた時に、隣人の手を介して働かれます。私たちは養うことで養われ、与えることで与えられ、互いに助け合うことで支えられます。絶望の中に命の神は働かれる。今も、私たちがこうして命を与えられて、生かされているということは、そこに命の神の奇跡が働いているということです。決して当たり前ではないその事実を改めて気づき、命の神、復活のキリストと共に歩む道へと招かれて行きます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (4月18日)

礼拝出席 大人4名 (中継動画再生数19回) 献金 大人5,000円 感謝
インターネットを介して共に礼拝に参加された方々の正確な人数は分かりませんが、礼拝後の中継動画の再生数は19回でした。どうもありがとうございました。

◎ 次週 2021年5月2日(日) 復活節第5主日礼拝

招きの詞 詩編 98編 1-3節

聖書 ヨハネによる福音書 14章 1-14節

メッセージ 「キリスト教から イエスの道へ」 牛田匡牧師

賛美歌 「絶望の中に主はよみがえる」(©JAS.)、新生335(©連盟)、21-505(©P.D.)

礼拝はインターネットで中継配信いたします。礼拝の中でユーカリスト(聖餐式)を行う予定です。礼拝後に5月期の「教会を考える会(役員会)」を行います。先日の教会総会の中で行われた役員選挙で当選された新役員の方々と相談の上、場合によっては書面開催になる場合もあります。



◎ お知らせ

- ・本日、礼拝後に、釜ヶ崎支援のために「おにぎり作り」を行い、いこい食堂に届ける予定です。感染予防に留意しながら行います。どなたでもご参加ください。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、大阪府を含む4都府県に「緊急事態宣言」が出され(5月11日まで)、「不要不急の外出の自粛」が要請されています。自身が感染しないためにも、他人に感染させないためにも、そしてまた医療崩壊の現状を悪化させないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。教会では感染予防に留意しながら礼拝をいたしますが、教会にいらっしゃる場合には、ご自身の体調にご注意いただき、検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただけます。またご希望の方にはご自宅までお届けいたします。
- ・大阪教区総会は、現在の新型コロナウイルスの感染状況から、昨年度同様に書面開催となりました。ただし「2019年度・2020年度 召天者記念式」(大阪教区主催)は、5月3日(月)13時~14時半にインターネットを使ったZOOMによるオンライン礼拝として開催されます。「ミーティングID: 942 6833 0104」と「パスコード: 784118」を、当日パソコンやスマートフォンから、ZOOMのアプリケーション、もしくはウェブサイトにご入力いただくことでご参加いただけます。参加費は無料です。

◎ 次週以降の行事予定

	会場	メッセージ	行事
5/2		牛田牧師	ユーカリスト・教会を考える会
5/9	久宝寺地区	水谷牧師?	家族の日礼拝 (礼拝後の愛餐会(昼食会)は行いません)
5/16	久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	牛田牧師	聖書を読む会
5/23		牛田牧師	ペンテコステ礼拝(礼拝後の愛餐会(昼食会)は行いません)・おにぎり支援

日本基督教団大阪教区 主催
2019年度・2020年度 召天者記念式 開催のお知らせ

大阪教区総会議長 有澤博一
常 務 委 員 会

主の聖を賛美します。

これまで大阪教区では、毎年5月に行われる教区定期総会におきまして信仰の先達を覚え記念の時をもちましたが、2020年度第65回教区定期総会は書面表決となり、召天者記念式を執り行うことが出来ませんでした。そして、今年度も新型コロナウイルスの猛威の中であり、やはり一つの会場に100人を超える規模で集うことは難しいと判断いたしました。

しかしながら、このような状況下にあっても、主のもとへ召された方々、教師・信徒共にお一人お一人のお名前を覚えつつ祈る時を持ちたいと考え、下記のようにWEB形式での召天者記念式を執り行います。ご理解とご協力を宜しくお願いいたします。皆さまに神さまの祝福をお祈りいたします。

※召天者記念式は、教師の記念に加えて信徒の方々も記念する時として執り行なってきております。教師の記念には大切な歴史と歴史があります。それを継承しつつ、さらに信徒も同じ教会の一員として覚えたい、より一層伝道所・教会の交わりを広げる記念礼拝を今年も執りたいと考えております。召されたお一人お一人のお名前を覚えつつ、また和歌山・奈良・大阪に広がる伝道所・教会のネットワークの歩みと働きを覚えたいと祈る時を持ちたいと思います。

2019・2020年度 召天者 記念式

■金員 ZOOM 参加
ミーティング ID : 942 6833 0104
パスワード : 784118
※式次第は別途PDF添付にてご案内いたします。

日時 2021年5月3日(月) 13時~14時半
会場 大阪クリスチャンセンター 小礼拝堂

※今回は、ZOOMによる礼拝開催とします。
会場へのご来会はお控えください。IDとパスワードでご参加ください。
ご不明なことがありましたら教区事務局にメールでお問合せ・お申込ください。
ucj-osc@mbr.sphere.ne.jp (お問メールをお送りすることも可能です)

※この記念式は、教区主催ですが教区総会ではありません。
※どなたもご自由に参加いただけますが、ZOOMの参加制限数もありますので、教会・伝道所側にご参加いただける数とさせていただきます。
※式後に、参加された2019年度・2020年度の祈る方々へのご紹介できればと願っております。